

教師教育者のための プロフェッショナル・ ディベロップメント講座

2023年度
受講生
募集中

こんな講座です。

-  広島大学が社会人向けに開講している「[履修証明プログラム※](#)」の1つです。
※学校教育法施行規則で定められた、体系的な知識・技術等の習得を目指した社会人向け教育プログラムのこと。
- 若手教員や教育実習生の指導及び校内研修の企画・運営に関わっている先生方（現在は研修センターや大学等に在籍している人を含む）を対象に、1年間（計60時間）をかけて教員養成・研修の指導能力や研究能力の向上、そして教師教育者のコミュニティづくりを支援することを目的としています。

こんなニーズにおこたえます。

（現場の先生として）
実習生の指導や若手教員
の育て方について学び、
研究したい！

（研修担当者として）
実習指導・授業研究の
理念や方法について学び、
研究したい！

（大学教員として）
教職志望学生のための
カリキュラムや指導法に
ついて研究したい！



教師教育の研究者として
必要な、学術論文の読み
解き方や資料の探し方を
実践的に学びたい！

教師教育の当事者として
抱えている様々な悩みや
葛藤を話したい！境遇が
似た人とつながりたい！

将来大学院に進学して
教育学に関する最新の
研究成果を学びたい！
その準備をしたい！

プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

 教師教育者（Teacher Educator）とは・・・

教師の力量形成に関わる専門家のこと。指導主事や研修主任、研究サークルの運営者、教員養成や教員研修に携わる大学教員など、教師の成長に影響を与えるあらゆる立場の人が含まれます。

プログラムの概要



以下の関連リンクも、
ぜひご参照ください。

- 教員養成・教員研修を担う教師教育者に求められる知識・能力の習得と研究能力の向上を目的とします。
- 教師教育実践を省察し課題を発見するとともに、習得した理論を活用して課題解決をはかります。一連の過程と成果は、関係者全員の連名で、学術論文にまとめていきます。
- 受講定員は最大5名まで。講座は原則として土曜日・日曜日の午後にオンライン（同時双方向）で開講します。
- 教師教育実践の省察と論文執筆の成果に基づいて評価を行い、合格と判定された場合、修了とします。
- 本講座（30時間）とは別に、大学院授業科目（30時間）も履修します。科目等履修生として登録し一定水準に到達したと判断された場合は、大学院科目の単位も認定されます。

➤ 本プログラムの紹介
（広島大学のHP）



➤ 本プログラムの紹介
（EVRIのHP）



➤ 2022年度活動概要
（EVRIのHP）



プログラムの内容

第1回（4月）：オリエンテーション （教師教育者になる転機と契機）	第6回（9月）：教師教育者研究の方法論② （質的研究の手続きと具体例）
第2回（5月）：教師教育者研究の理論① （教師教育者，移行，同型性）	第7回（10月）：共同研究論文の執筆① （データ解析の妥当性の検討）
第3回（6月）：教師教育者研究の理論② （アイデンティティ，専門性開発）	第8回（11月）：共同研究論文の執筆② （草稿の検討と修正点の協議）
第4回（7月）：教師教育者研究の理論③ （成人教育論，メンタリング）	第9回（12月）：教師教育者としての省察① （他者の葛藤の物語を読む）
第5回（8月）：教師教育者研究の方法論 （研究方法論の概観）	第10回（1月）：教師教育者としての省察② （自身の葛藤の物語を書く）

※セミナーの内容は暫定的なものであり、受講者の状況に応じて変更となる場合があります。

主催者あいさつ



草原 和博
（講座主催者）

広島大学教育ヴィジョン研究センター（EVRI）では、先生を育てることに関心を持つ先生方の学び直しを支援する履修証明プログラムを開講します。欧米の教師教育者の専門性開発論をベースに展開します。ご自身の志と技を、そしてキャリアを見直すきっかけとなれば幸いです。

2022年度は、以下の2つの共同研究の成果を論文にまとめました。

- 「模擬授業後の協議会における教師教育者のフィードバック改善にむけたセルフスタディ」
 - 「学校基盤の教師教育者が直面する葛藤とは何か
―校内研究・研修主任を経験した2名のセルフスタディを通して―」
- ※いずれも『学校教育実践学研究』第29巻掲載（2023年3月刊行予定）

お問い合わせ 広島大学教育ヴィジョン研究センター（EVRI）
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号
広島大学大学院人間社会科学研究科 B101
Tel & Fax: 082-424-5265 Mail: evri-info@hiroshima-u.ac.jp

